

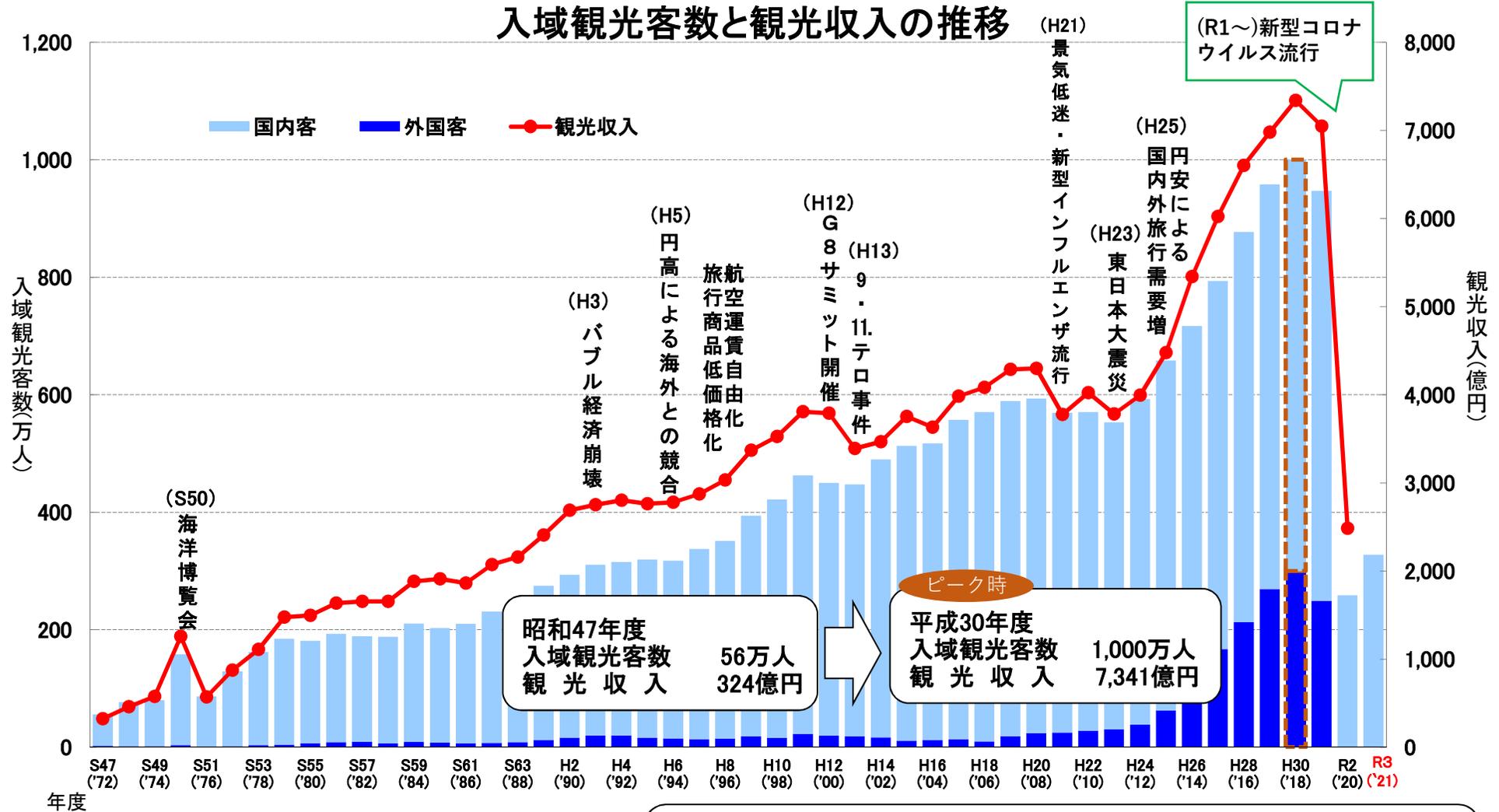
沖縄県のMICE振興に関する 取り組み状況について



第25回 国際会議等各種会議の
沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議

1. 沖縄観光の発展とコロナ禍の影響

入域観光客数と観光収入の推移



1972年度(昭和47年度)
入域観光客数 56万人
観光収入 324億円



2020年度(R2年度)
入域観光客数(全体) 258万人
うち、海外入客 0万人
観光収入 2,485億円

2021年度(R3年度)
入域観光客数(全体) 327万人 (69.7万人 **26.7%増**)
うち、海外入客 0万人
観光収入 **現在算定中**

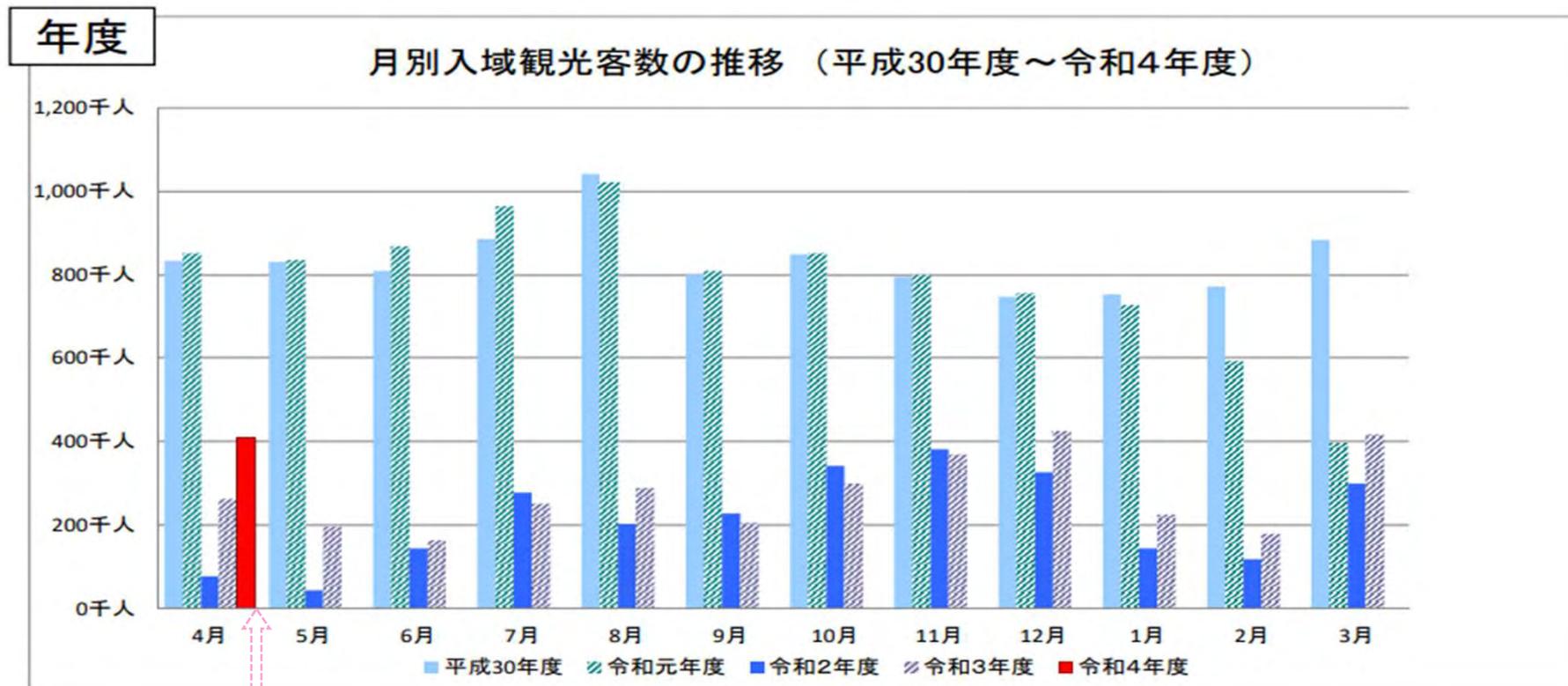
- 令和2年度の入域観光客数は、前年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響等により、7割を越える減少。特に外国人観光客は、復帰後初の0人。しかし令和3年度の入域観光客数は、3年ぶりに増加に転じた。

(参考①) 最近の入域観光客数

- R3年度入域観光客数は、327万4,300人。令和2年度と比べると69万700人、26.7%の増加となった。

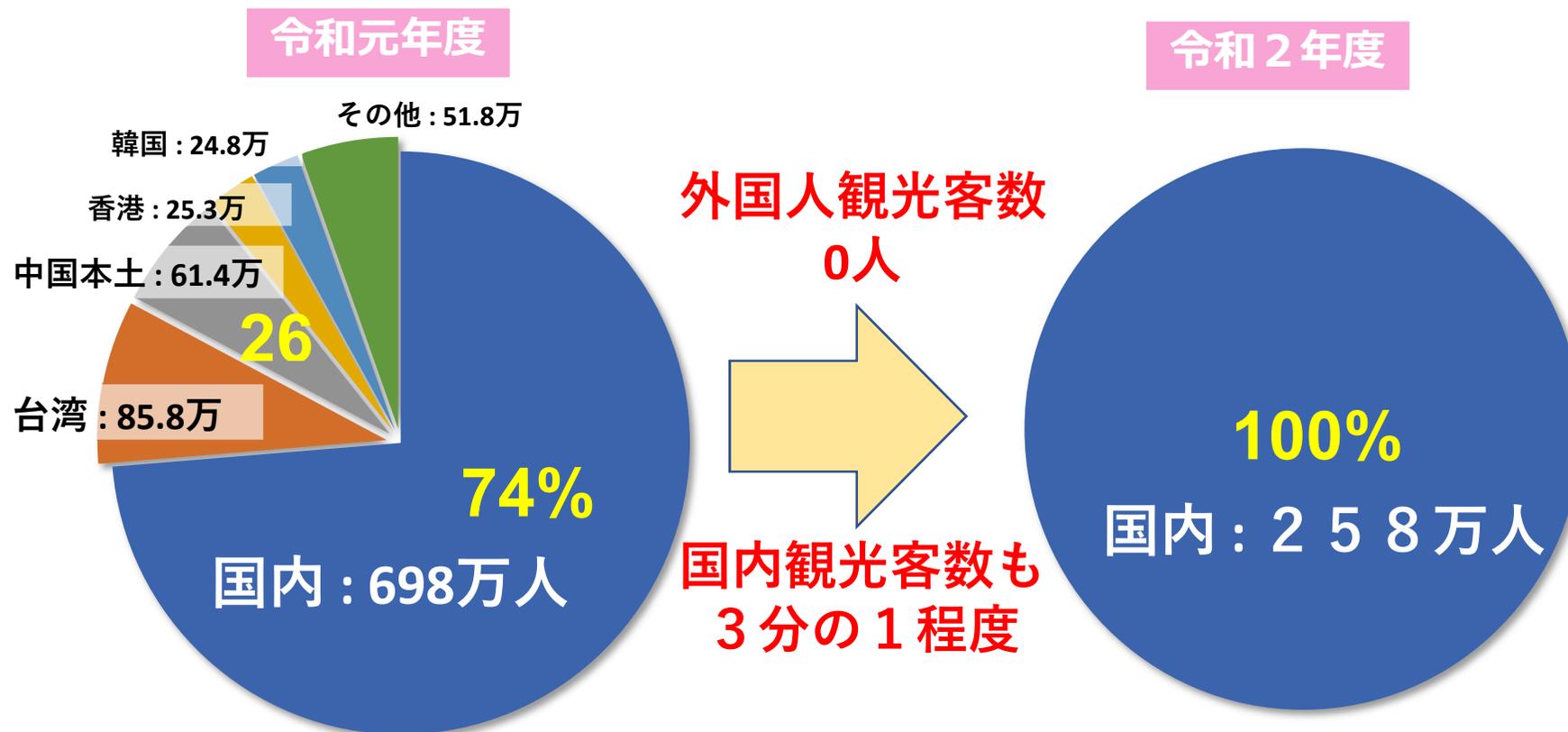
増加の主な要因は、

- ① ワクチン接種の普及
- ② 国内航空路線において減便規模が縮小
- ③ 夏季期間における季節便の運航とプロ野球キャンプの有観客での実施 など



令和4年4月は、令和元年度の半分程度まで回復

(参考②) コロナ禍における海外観光客の状況



□外国人観光客数
249万人(対前年度比17.0%減)
□外国人観光客の割合
26.3%(昨年度の割合30.0%)

□外国人観光客数
0人(対前年度比 皆減)
□外国人観光客の割合
0%

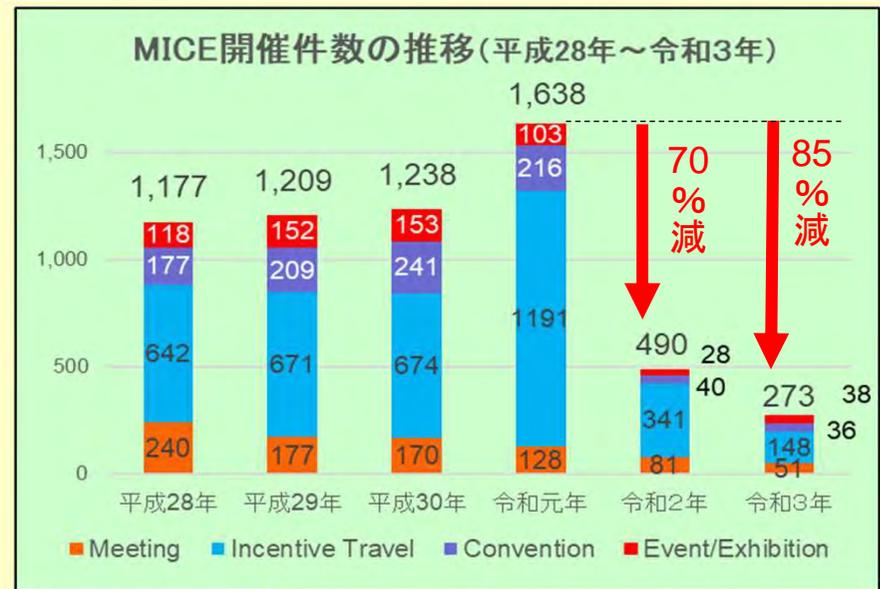
令和3年度も外国人観光客数は0人₃

2. 県内におけるMICEの開催状況 (未定稿)

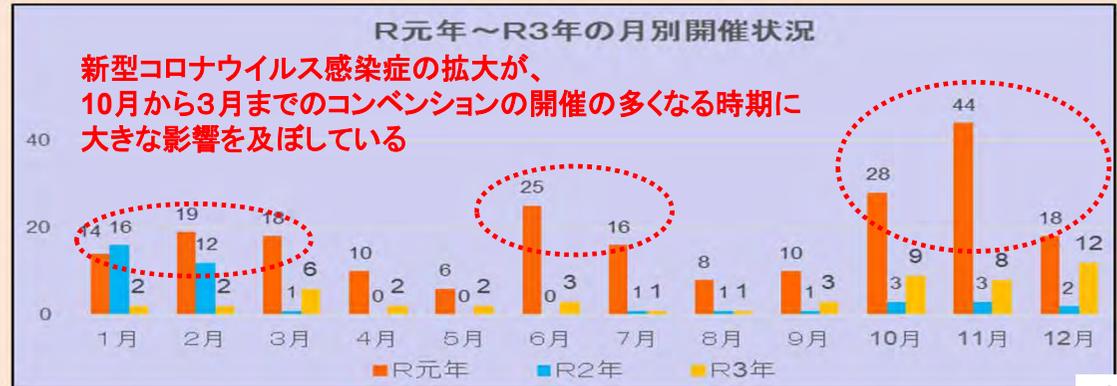
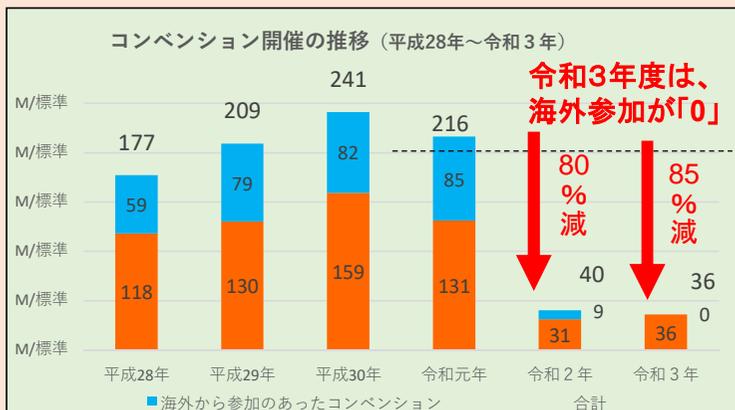
- ① 県内におけるMICEの開催件数は、令和元年度に1,638件に達し拡大傾向にあった。
- ② しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、令和2年度は70%減の490件、令和3年度はさらに273件と、インセンティブ旅行や学会・コンベンションなどが大きく減少。

MICE開催件数(令和2年)	計490件
(M) ミーティング	81件 (17%)
(I) インセンティブ旅行	341件 (70%)
(C) 学会・コンベンション	40件 (8%)
(E) 展示会・イベント	28件 (6%)

(参考) 令和元年	計1,638件
(M) ミーティング	128件 (17%)
(I) インセンティブ旅行	1,191件 (70%)
(C) 学会・コンベンション	216件 (8%)
(E) 展示会・イベント	103件 (6%)



Conventionでみると



(参考①) 沖縄県のWithコロナにおける感染症対策

- 令和2年5月11日に、沖縄県は基本的な感染予防対策と業種や施設の種別ごとの感染予防対策を盛り込んだ**感染予防のためのガイドラインの作成と持続的な感染防止対策**を、事業者に対して依頼。
- 同年7月31日には、「**沖縄新型コロナウイルス感染症対策に関する条例**」を公布。
 条例の目的：県内において新型コロナウイルス感染症等の急速なまん延のおそれがある場合の措置を定め、県、県民及び事業者の責務を明らかにすることにより、新型コロナウイルス感染症等から県民の生命及び健康を保護し、並びに新型コロナウイルス感染症等が県民生活及び県民経済に及ぼす影響が最小となるようにし、もって安全安心の島沖縄を実現する。
- 同年8月31日に公表した各事業者における「**新型コロナウイルス感染症対策**」では、体調不良の職員への対応や職員に感染が確認された場合の対応等を示すとともに、事業者の向けに、**事業者が実施すべき感染防止対策を掲載したチェックシートを作成**。

各種施設や交通機関では安心してご利用いただくために、業種別の感染防止対策ガイドラインに基づいた対策を行っています。



感染拡大防止と社会経済活動の両立をサポートするため、LINE公式アカウント「沖縄県-新型コロナ対策パーソナルサポート」の新たな機能である「RICA（リッカ）」を令和2年10月16日から運用しています。



「県民と旅行者の安全・安心をみんなで守っていこう」という思いと、ソーシャルディスタンスを守りながら、島人と旅人が笑顔でつながっていることを表しています。



感染防止対策を全て実施し、県へ申請した事業者は、「シーサーステッカー」を店舗等の目立つところに掲示でき、安心して利用できる施設であることを示す。



新型コロナウイルス感染症の再拡大を防ぐため、飲食店、宿泊施設に対する感染防止対策認証制度を構築し、安全安心な店舗を「つくる・まもる・ひろめる」の県民運動を推進している。

(参考②) 沖縄県のWithコロナにおける水際対策

来訪者（沖縄への来訪を検討している）の皆様へ
 ～～往来に関するお願い～～

旅マエ

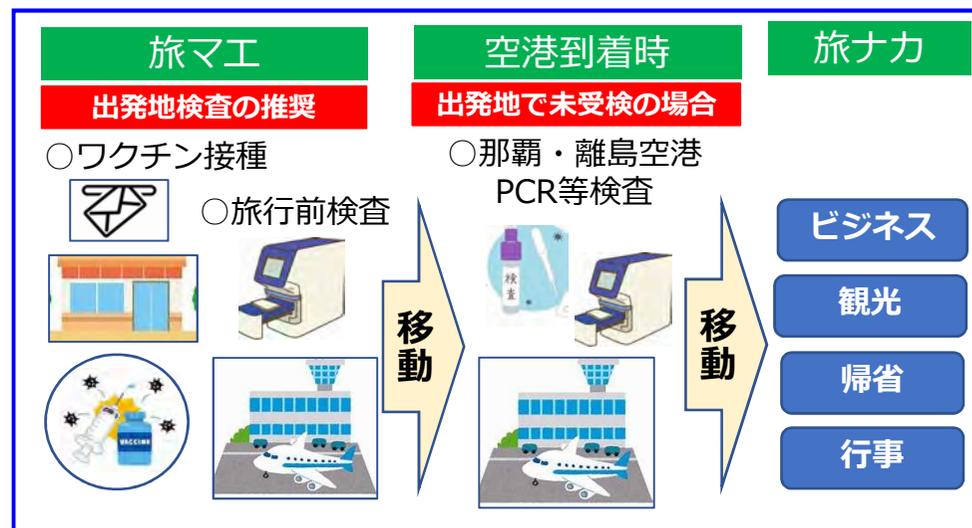
- 来県前の「十分な健康観察」と「感染防止対策」の徹底
- 来県する前の3回目のワクチン接種の完了、または「PCR等検査で陰性を事前に確認」
- 体調不良の際の「来県を延期」

空港到着時

- 来県前に検査が受けられない方のため、**那覇空港、宮古空港、下地島空港、新石垣空港、久米島空港で到着時にPCR等検査を受検できる体制を整備**
- 来県時は、感染防止対策が徹底されていない飲食店やホテル等の利用は控え、「感染防止対策認証店」の利用

旅ナカ

- **沖縄滞在中に体調不調や発熱があった場合の旅行者専用相談窓口の設置**
- 「沖縄修学旅行防疫観光ガイドライン」等に基づく行動。
- 来県時は、感染防止対策が徹底されていない飲食店やホテル等の利用は控え、「感染防止対策認証店」の利用。



発熱の症状があった旅行者に渡航歴を確認するなど問診を実施し、感染症の予防・拡大防止対策を行う。



やむを得ない諸事情により出発地（渡航前）のPCR検査を受けられず渡航される方を対象（希望者のみ）に、那覇空港において、事前申込でPCR検査を実施。

(参考③) Withコロナでのエキシビジョン開催事例

ResorTech EXPO 2021 in Okinawa

Withコロナの下、「IT産業と他産業のビジネスマッチングの場」、「沖縄県内で取り組まれている実証事業等の活動成果法コックの場」として、複合型見本市(展示、商談、セミナー)をリアル会場とオンラインで開催。

催事名	ResorTech EXPO 2021 in Okinawa
会期	リアル開催：2021年11月18日(木)～11月19日(金) オンライン開催：2021年11月1日(月)～12月12日(日)
会場	沖縄コンベンションセンター展示棟・会議棟
来場者数	9,213名 (リアル会場：4,210名、オンライン：5,003名)
出展・参加企業数	107社(沖縄県内：69社、県外：38社)



感染症対策事例

- ① 各種ガイドラインの徹底
- ② 入場管理の徹底
- ③ こまめな清拭消毒の実施
- ④ 発熱、混雑検知などIT、IOTソリューションの積極活用

etc...



(参考④) 持続可能なMICE開催に向けた取組の推進 (SDGs)

- MICEの開催に際しては、多くの人や物が移動し開催地においても多くの資源が消費されることによって、その**経済的な恩恵が大きい反面、それらが与える負の側面も有する。**
- 国際団体やグローバル企業などは、会議などの開催地の選定の際に会場やアクセス、観光資源などの**従来の基準に加えて、持続可能性も重視。**
- 沖縄県は、持続可能なMICE開催に向けた取組を推進するため、MICE主催者やMICE関連事業者を対象とした『**サステナビリティ導入ガイドライン**』を作成。
- 「新しい生活様式」の環境下で、新しいMICEの形である安心・安全な受入体制を整え、ウィズコロナからポストコロナに向けた沖縄独自の取組を発信する『**沖縄MICEその先へー沖縄版感染症対策業界別ガイドライン集ー**』を作成。

